

# 平成23年度「田舎で働き隊！」事業 (食と地域の交流促進集落活性化対策) 実践研修成果報告発表



平成24年2月29日

研修生 伊東 雅

# 研修参加の動機

- 農家の仕事を知りたい
- 農家経営について知りたい(第一次→第六次)
- 栽培技術を学びたい(有数の生産地)

# 沼田市について

- 日本有数の河岸段丘上に位置する
- 人口:5.3万人(約2万世帯)
- 総面積:443.37km<sup>2</sup>(約8割が森林)
- 内陸性気候(夏冬、昼夜の寒暖差が大きい)
- 第一次産業従事者の割合が高い(群馬県全体との比較)
- 一人当たり農業粗生産額は県平均を大きく上回る



# 協議会の構成組織

研修生

## 利根沼田集落活性化協議会

農業生産法人  
高原生活

茂木清七さん

株式会社  
雪国アグリ

社団法人海外  
農業開発協会

# 研修の目標

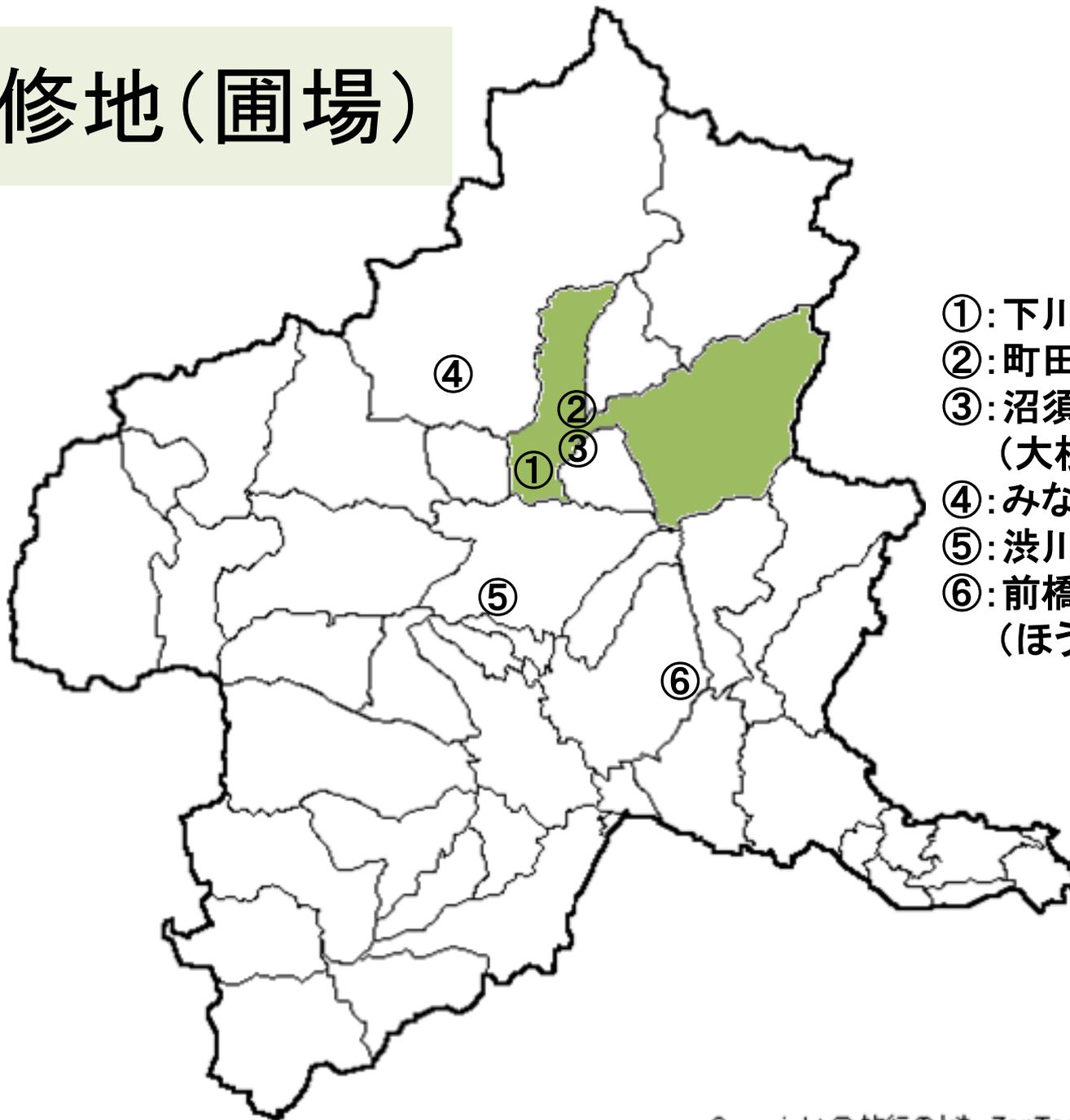
- 農家の基本を知る
- 低農薬の栽培方法を勉強する
- 農作業技術を身に付ける
- 収穫から出荷までの流れを理解する



# 研修先について

- 冬季は大根、白菜、ほうれん草を栽培
- 野菜は全て特別栽培以上
- 雪国アグリ、野菜くらぶ、野菜加工会社、給食センター等に出荷先を持つ
- 各地で催される物産展に出店
- 高原生活社員2名、アルバイト1名

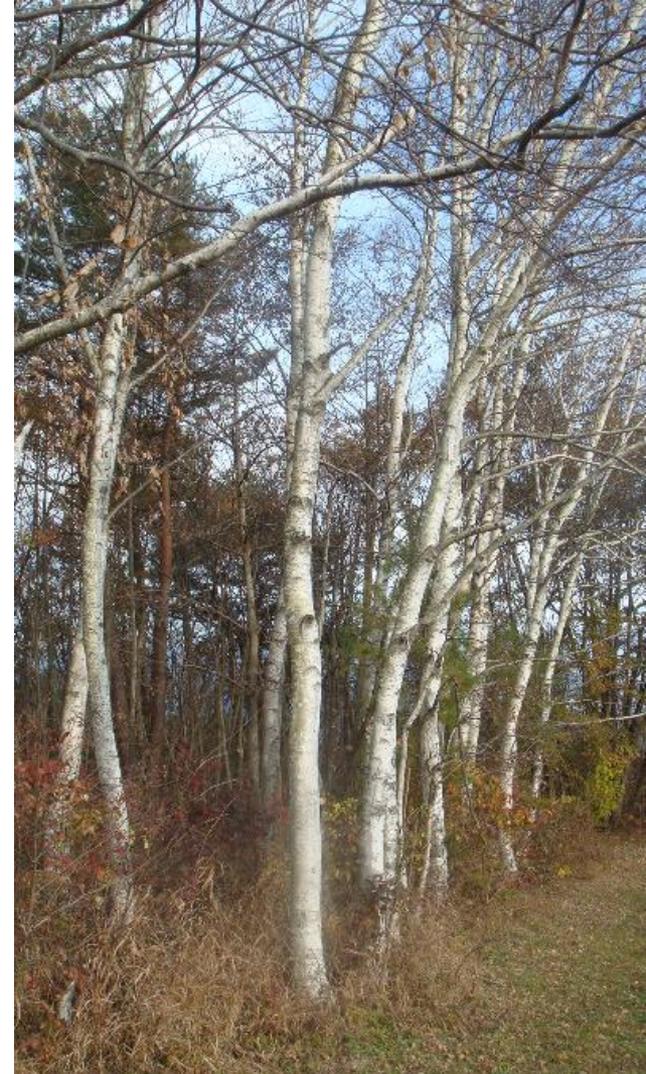
# 研修地(圃場)



- ①: 下川田(大根、白菜)
- ②: 町田(ほうれん草、白菜)
- ③: 沼須、栄町  
(大根、白菜、ほうれん草)
- ④: みなかみ町新治(大根)
- ⑤: 渋川市石原(トマト)
- ⑥: 前橋市粕川  
(ほうれん草、大根)

# 研修内容(10月18日～2月27日)

- 野菜の収穫、出荷、播種、追肥  
(大根、白菜、ほうれん草、トマト)
- 物産店の参加  
(野菜、味噌の販売)
- 圃場整備
- 地元小学生への食育活動
- 生産者会議の出席



# 一日の流れ

集合(8:00~)



打ち合わせ



圃場へ移動



収穫



出荷



解散(~17:00)



# 圃場研修日程

(平成23年10月18日～平成24年2月27日)



# 圃場以外の研修

- 野菜くらぶ生産者会議参加
- 認定農業者研修会参加
- 物産展出店（野菜、加工品販売）
- 高原生活作付会議参加

# 研修風景



・ぐんま“いきいきファーマー”  
研修会参加

・野菜くらぶ“秋の全体会議”参加



# 研修風景

- ハウス内片づけ
- ビニール撤去作業



# 研修風景

・不織布張りつけ作業



・ヨーゲン散布作業

# 研修風景



・絹さや播種作業

・電熱線を巡らせた育苗用温床へ



# 研修風景



- ・大根の播種に使用するトラクター



- ・トンネル骨組みの設置作業

# 研修風景



・トンネル設置作業の様子



# 会話の中から勉強したこと



- 有機認証はとらない
- 相性のいい作物を作る
- 化成肥料うまく使う
- 粘土質→実もの 火山灰土→葉もの、根もの
- 損益を常に考える

# 会話の中から勉強したこと

- 価格の変動が大きい(ほうれん草:20円/200g  
~175円/200g 大根:20円/本~250円/本)
- 野菜の売り上げの20%~25%が利益になる
- 肥料代は5~6万円/10a
- 大根、豆は白菜の半分の肥料で栽培可能  
→高利益率

# 地域住民との交流は...

- パートさん
- 従業員
- 近くのガソリンスタンド店員
- 近所のおばあちゃん



# 研修成果

- 様々な実習研修を通して収穫作業から出荷までの流れを把握することができた
- 生産者の生の声を聴くことができた
- 地域の人々のつながりを感じた

ご清聴ありがとうございました

